

2024 年度 第 4 回 日本バレーボール学会理事会 議事録

日時:2024 年 11 月 12 日(火)18:00~20:00

場所:Zoom ミーティング

出席者:黒川貞生会長, 石手靖副会長, 吉田清司副会長, 松井泰二理事長, 田中博史副理事長, 久保田もか監事, 濱田幸二, 高野淳司, 内田和寿, 高橋宏文, 金子美由紀, 小松香奈子, 加戸隆司, 高根信吾, 縄田亮太, 沼田薫樹, 根本研, 榎本翔太, 杉山哲平, 市川智之, 湯澤芳貴, 飯島康平, 横矢勇一, 中瀬巳紀生各理事(オンライン 24 名)

委任:石丸出穂理事(1 名)

欠席:後藤浩史監事, 梅崎さゆり, 小川宏, 永谷稔, 布村忠弘各理事 (5 名)

挨拶:黒川会長より挨拶があり, 続けて司会進行により議事に入った。

I. 議事録の承認

1. 2024 年度第 3 回理事会議事録の承認

原案の通り承認された。

II. 報告事項

1. 総務委員会報告

高根理事より年会費の納入が低調であること, ニュースレターの掲載等, 会員に周知が必要な情報がある際には積極的にメール配信を行うことの必要性が説明された。加えて, メールを配信する際には, 各委員会が作成したメール本文を総務委員会が配信すること, また, それらのメールの本文に年会費納入のお願いを適宜挿入することで年会費納入率の向上に努める旨が説明された。また, 各委員会が作成するメールの本文にはテンプレートがあり, それを改めて湯澤総務委員長から各委員会に配信することとなった。

2. 企画委員会報告

報告事項なし。

3. 編集委員会報告

- ・機関誌に掲載する研究発表の抄録原稿について

高橋編集委員長より, 学会大会の研究発表における抄録を J-STAGE に掲載する際, 体裁が整っているものと整っていないものの差が大きく, そのまま J-STAGE に掲載することを問題視する意見があったこと, 抄録の差し替えを希望する発表者については差し替えることが報告された。

4. 渉外委員会報告

報告事項なし.

5. 広報委員会報告

報告事項なし.

6. 研究推進委員会報告

高野研究推進委員長より、ミズノスポーツ振興財団「スポーツ学に関する研究助成」への応募はなかったことが報告された.

7. その他

報告事項なし.

III. 審議事項

<総務委員会>

1. 会則の一部変更について

湯澤総務委員長より【議事資料 0401】に基づき変更内容、会則の変更は総会で諮る必要があることが説明され、これが承認された.

2. 休会制度に関する申し合わせについて

湯澤総務委員長より【議事資料 0402】に基づき説明がなされ、以下を修正することでこれが承認された.

- ・名称を「細則」もしくは、「申し合わせ」のどちらかにするかを総務委員会で最終決定する.
- ・休会中でもメールは受信できるようにする.
- ・施行日は、最初の休会を承認した日とする.

<企画委員会>

3. 2024 年度バレーボールミーティング決算について

沼田企画委員長より【議事資料 0403】に基づき説明がなされ、これが承認された.

4. 第 30 回記念バレーボール学会記念大会について

沼田企画委員長より【議事資料 0404】に基づき説明がなされ、以下の修正を行うことでこれが承認された.

- ・開催要項「提出された抄録はそのまま機関誌『バレーボール研究』に掲載します。」を削

除する.

- ・開催要項「基調講演 2「PARIS2024 で監督を支えたスタッフの働き」の 2 人目の登壇者は「未定」とし、Peatix に掲載する.
- ・一般研究発表申込要領(案)「抄録執筆要領」の記載項目を指示する文章における「なるべく」を削除する.
- ・第 30 回記念大会予算額は通常より 10 万円増額し 50 万円とし、協賛金を募る努力をしていただき、最終的に不足がある場合には学会予算から補填する.

なお、発表抄録を機関誌「バレーボール研究」に掲載するかどうかについては、引き続き検討することとなった.

5. 2024 年度バレーボールセミナーについて

沼田企画委員長より【議事資料 0405】に基づき説明がなされ、これが承認された.

6. 2025 バレーボールミーティングについて

沼田企画委員長より口頭にて、2025 バレーボールミーティングは高知工科大学にて 8 月 17 日にハイブリッド形式で開催する予定であること、講師は調整中であることが説明され、これが承認された.

<編集委員会>

7. 次回研究大会からの抄録原稿のフォーマットについて

III. - 4「第 30 回記念バレーボール学会記念大会について」で議論された. 該当箇所は以下である.

- ・一般研究発表申込要領(案)「抄録執筆要領」の記載項目を指示する文章における「なるべく」を削除する.

なお、発表抄録を機関誌「バレーボール研究」に掲載するかどうかについては、引き続き検討することとなった.

<渉外委員会>

審議事項なし.

<広報委員会>

8. 全日本大学バレーボール連盟との協定(案)について

縄田広報副委員長より【議事資料 0406】に基づき説明がなされ、議論の結果、以下の点が承認された.

- ・全日本大学バレーボール連盟，その他全地方学連と協定締結を依頼する。
- ・最終的な協定書は広報委員会が作成した後，メールで審議する。
- ・各学連の代表者へ協定書を送る前に，各学連の役員に事前に送付を知らせる必要があり，日本バレーボール学会の役員の知人で各学連の役員である方に連絡する。
- ・宛先，宛名は，各学連の役員に連絡する本学会担当者が縄田広報副委員長に知らせる。
- ・協定書は事務局から各学連の会長宛に発送する。

<研究推進委員会>

審議事項なし。

<会長>

9. 元 27 周年記念事業および 30 周年記念事業の進捗状況について

松井理事長より口頭にて，当該事業で行う内容は決まっているが，出版物の発注先が決まらないことが説明された。議論の結果，引き続き予定通り当該年度に実施できるよう準備を進めていくことが承認された。

10. 協賛金（賛助会員）獲得の手続きの進捗状況について

横矢渉外委員長より口頭にて，賛助会員として入会を依頼する企業，団体のリストアップが完了していないことが説明された。議論の結果，渉外委員会で期日を定め，計画的に遂行していくことが承認された。

<その他>

11. その他

高根総務副委員長より，本学会のロゴの積極的な利用の必要性が説明され，以下のことが承認された。

- ・編集委員会が検討し，機関紙でロゴ使用する。
- ・その他委員会でも積極的に利用する。

IV. 挨拶 石手副会長より，以後，「元 27 周年記念事業および 30 周年記念事業」と「協賛金」については，理事会の冒頭で議論すべきとの意見と，熱心な討議への謝辞が述べられ議事を終了した。

次回開催予定：2024 年 1 月 21 日（オンライン）

以上

書記 榎本翔太